

# プログラム

---

10:00~10:05 開会の辞	学術集会実行委員長	許斐博史
10:05~11:20 セッションI 〈対話の医療への挑戦〉	座長 うめした内科	梅下滋人
①うつ病回復期の復職に向けて対話診療が有効であった1症例	昂希内科クリニック	小番英裕
②対話診療により振戦が軽減したと思われる、パーキンソン病・うつ病に合併した 正常眼圧緑内障の1症例	細木眼科	細木敬三
③家族との絆を回復し、静かにこの世を去った再発咽頭癌男性の1症例	深谷外科医院	深谷修平
④「病からの呼びかけを聴く」ことで改善したと思われる難治性疼痛の1症例	やまもとクリニック	山本玉雄
⑤対話診療によって脳出血による頑固な視床痛が軽快した1症例	梅ノ辻クリニック 脳神経外科	山田洋司
11:20~12:05 セッションII 〈「因縁果報ウイズダム」で超える臨床の壁〉	座長 今給黎総合病院 消化器内科	古賀哲也
①TL人間学に基づく、理想の医院を目指して(第1報)	小村肛門科医院	小村憲一
②医療崩壊の波の中で、医療者の協働による地域医療の再生を願って	江別市立病院 総合内科	高橋早織
③「因縁果報ウイズダム」によって問題解決の道が開かれた化膿性脊椎炎の1症例	済生会中央病院 整形外科	井上 清
12:05~12:20 総 会		
12:20~13:20 昼 食		
13:20~14:40 特別講演	座長 トータルライフクリニック本郷内科	馬渕茂樹
「医療を崩壊させないために」	虎の門病院 泌尿器科	小松秀樹
14:40~15:40 シンポジウム「病からの呼びかけを聴く——人間の力を解放する新しい医療への挑戦」	座長 重症心身障害児施設 中川の郷療育センター	許斐博史
	トータルライフクリニック本郷内科	穴水聡一郎
	富士市立中央病院 腎臓内科	笠井健司
	あおぞら診療所新松戸	前田浩利
15:40~16:40 セッションIII 〈「私が変わります」が開く癒しの看護〉	座長 名古屋掖済会病院 看護部	梅崎文子
①「因縁果報ウイズダム」に取り組み「老老介護」を支援した2症例に関する考察	うめした内科	花田美那子
②「因縁果報ウイズダム」により医療者の協力体制が整い、手術に至ることができた1症例	横浜市立大学附属病院 看護部	三吉裕子
③「永遠の生命」というTL人間学に基づく人間観を伝えて精神状態の改善をみた1症例	エデン訪問看護ステーション	間瀬金子
④TL人間学に基づく「他者評価を受けるミーティング」によって 看護部の人間関係が改善した経験を通して	トータルライフクリニック本郷内科	岡 登美子
16:40~17:25 セッションIV 〈新たな原則確立への挑戦〉	座長 くまがい眼科	熊谷和久
①TL人間学に基づく新しい原則による看護ケアへの挑戦から得られた体験	東京医科歯科大学医学部附属病院 看護部	武 未希子
②TL人間学に基づくリハビリテーションへの挑戦	リハビリテーション天草病院	済川裕右
③いわゆるモンスターペイシェントに対して傾聴・共感に徹することによって 問題が解決した事例が教えてくれるもの	国立国際医療センター国府台病院 第一内科	三島修一
17:25~17:30 閉会の辞	学術集会実行委員長	許斐博史

---